

豪州高配当株 ツインαファンド (毎月分配型)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／資産複合	
信 託 期 間	2012年 8 月31日から2023年 4 月25日まで	
運 用 方 針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	外国投資信託である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド」および親投資信託である「T & Dマネーブールマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体（株価指数等）のオプション取引（コールオプションの売却）および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。
	T & Dマネーブールマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。株式への直接投資は行いません。	
分 配 方 針	毎決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。	

運用報告書（全体版）（第19作成期）

第107期（2021年 8 月25日） 第110期（2021年11月25日）
第108期（2021年 9 月27日） 第111期（2021年12月27日）
第109期（2021年10月25日） 第112期（2022年 1 月25日）

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「豪州高配当株ツインαファンド（毎月分配型）」は、2022年 1 月25日に第112期決算を行いましたので、第107期から第112期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝 5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前 9 時～午後 5 時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近 5 作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近 5 作成期の運用実績

決 算 期		基 準 価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II- 豪州高配当株・ツインαファンド 組 入 比 率	純 資 産 額
		(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率				
第 15 作成期	83期 (2019年 8 月 26 日)	円 2,038	円 50	% △ 4.9	% —	% —	% 99.1	百万円 5,324
	84期 (2019年 9 月 25 日)	2,091	35	4.3	—	—	99.0	5,439
	85期 (2019年10月25日)	2,077	35	1.0	—	—	99.3	5,269
	86期 (2019年11月25日)	2,020	35	△ 1.1	—	—	99.1	5,022
	87期 (2019年12月25日)	2,033	35	2.4	—	—	99.4	4,920
	88期 (2020年 1 月 27 日)	2,009	35	0.5	—	—	99.3	4,808
第 16 作成期	89期 (2020年 2 月 25 日)	1,973	35	△ 0.0	—	—	99.2	4,708
	90期 (2020年 3 月 25 日)	1,131	35	△40.9	—	—	98.7	2,637
	91期 (2020年 4 月 27 日)	1,275	35	15.8	—	—	99.0	2,972
	92期 (2020年 5 月 25 日)	1,326	35	6.7	—	—	99.0	3,098
	93期 (2020年 6 月 25 日)	1,324	35	2.5	—	—	98.9	3,211
	94期 (2020年 7 月 27 日)	1,320	35	2.3	—	—	98.9	3,228
第 17 作成期	95期 (2020年 8 月 25 日)	1,313	35	2.1	—	—	98.7	3,170
	96期 (2020年 9 月 25 日)	1,219	35	△ 4.5	—	—	98.9	2,901
	97期 (2020年10月26日)	1,270	25	6.2	—	—	99.1	3,010
	98期 (2020年11月25日)	1,364	25	9.4	—	—	99.0	3,070
	99期 (2020年12月25日)	1,346	25	0.5	—	—	98.9	2,947
	100期 (2021年 1 月 25 日)	1,366	25	3.3	—	—	98.8	2,998
第 18 作成期	101期 (2021年 2 月 25 日)	1,389	25	3.5	—	—	99.0	3,029
	102期 (2021年 3 月 25 日)	1,407	25	3.1	—	—	99.0	3,002
	103期 (2021年 4 月 26 日)	1,410	25	2.0	—	—	99.0	3,028
	104期 (2021年 5 月 25 日)	1,411	25	1.8	—	—	99.0	2,966
	105期 (2021年 6 月 25 日)	1,413	25	1.9	—	—	99.1	2,938
	106期 (2021年 7 月 26 日)	1,360	25	△ 2.0	—	—	99.2	2,786
第 19 作成期	107期 (2021年 8 月 25 日)	1,375	25	2.9	—	—	99.0	2,820
	108期 (2021年 9 月 27 日)	1,344	25	△ 0.4	—	—	98.9	2,690
	109期 (2021年10月25日)	1,388	25	5.1	—	—	99.1	2,706
	110期 (2021年11月25日)	1,367	25	0.3	—	—	99.1	2,596
	111期 (2021年12月27日)	1,336	25	△ 0.4	—	—	98.1	2,501
	112期 (2022年 1 月 25 日)	1,284	25	△ 2.0	—	—	98.9	2,443

(注) 基準価額および分配金は 1 万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年	月	日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II-豪州高配当株・ツインαファンド組入比率
					騰 落 率			
第107期	期 首（前期末）	2021年	7月26日	円 1,360	% —	% —	% —	% 99.2
			7月末	1,374	1.0	—	—	99.2
			期 末 2021年8月25日	1,400	2.9	—	—	99.0
第108期	期 首（前期末）	2021年	8月25日	1,375	—	—	—	99.0
			8月末	1,380	0.4	—	—	99.4
			期 末 2021年9月27日	1,369	△0.4	—	—	98.9
第109期	期 首（前期末）	2021年	9月27日	1,344	—	—	—	98.9
			9月末	1,360	1.2	—	—	98.6
			期 末 2021年10月25日	1,413	5.1	—	—	99.1
第110期	期 首（前期末）	2021年	10月25日	1,388	—	—	—	99.1
			10月末	1,386	△0.1	—	—	99.0
			期 末 2021年11月25日	1,392	0.3	—	—	99.1
第111期	期 首（前期末）	2021年	11月25日	1,367	—	—	—	99.1
			11月末	1,309	△4.2	—	—	99.3
			期 末 2021年12月27日	1,361	△0.4	—	—	98.1
第112期	期 首（前期末）	2021年	12月27日	1,336	—	—	—	98.1
			12月末	1,353	1.3	—	—	97.8
			期 末 2022年1月25日	1,309	△2.0	—	—	98.9

（注）基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

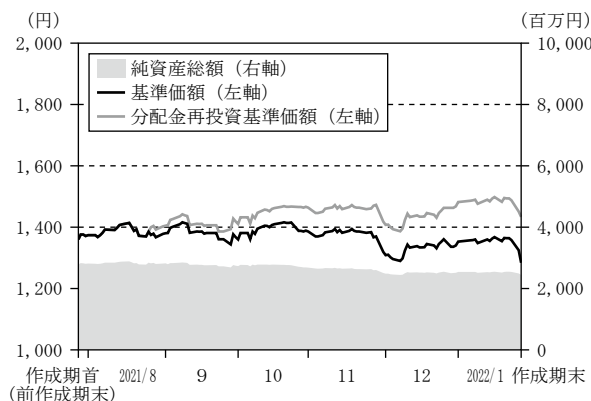
（注）当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第107期首：1,360円

第112期末：1,284円（既払分配金150円）

騰落率：5.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2021年7月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている外国投資信託において、オーストラリア株式のオプション効果、保有しているオーストラリア高配当株式の配当金等がプラス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	6.2%
T&Dマネーブルマザーファンド	△0.0

■ 投資環境

【オーストラリア株式市況】

オーストラリア株式市場は下落しました。作成期初は、金融緩和政策が当面は維持されるとの観測や好調な企業決算などを材料に欧米株式市場が堅調となるなか、オーストラリア株式市場も上昇しました。しかし2021年8月中旬には、新型コロナウイルス関連のロックダウン（都市封鎖）強化や鉄鉱石価格の下落などをを受けて株価は大幅に下落し、中国における不動産大手企業の債務問題、電力危機などが投資家心理を悪化させ、10月初めにかけて株価は下落基調で推移しました。その後は、オーストラリアにおけるロックダウンや移動制限の緩和による景気回復期待などから株価が上昇する局面もありましたが、7-9月期のコアインフレ率が市場予想を上回ったこと、10月の豪雇用統計が市場予想を下回ったこと、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」への警戒感などが株価の上値を抑える展開が続きました。12月下旬には、鉄鉱石や商品価格が底堅く推移したこと、オミクロン株の重症化や入院のリスクは低いとの研究結果が相次ぐなか過度な懸念が和らいだことなどから株価は上昇しました。しかし2022年1月には、米国の金融政策の早期正常化への懸念や、2021年12月の豪雇用統計の堅調さが早期利上げ観測につながったことなどから、株価は下落しました。

【為替市況】

豪ドルは対円ではほぼ変わらずとなりました。作成期初から2021年10月初めにかけては、RBA（オーストラリア準備銀行）が債券購入プログラムの縮小を先送りしない意向を示したこと、7月の豪貿易収支が過去最大の黒字となったことなどが豪ドルの強気材料となった一方、オーストラリアにおけるロックダウンの延長、主要貿易相手国である中国における経済指標の悪化、鉄鉱石価格の下落などが弱気材料となって、豪ドル円相場は上下に振れる展開となりました。その後は、オーストラリアの主要輸出品目であるLNG（液化天然ガス）などエネルギー価格の上昇、行動制限の緩和などを材料に豪ドルは円に対し上昇基調で推移し、10月終盤には、7－9月期の豪CPI（消費者物価指数）のコアインフレ率が市場予想を大きく上回ったことが早期利上げ観測を強め、豪ドル買いがさらに進みました。しかし11月には、10月の豪雇用統計の軟調さやオミクロン株の世界的な感染拡大などが投資家心理を冷やし、豪ドルは円に対し大幅に下落しました。12月には、オミクロン株に対する過度な懸念がいくらか後退したこと、11月の豪雇用統計が市場予想を上回ったことなどから豪ドルは円に対し再び上昇しました。その後は、オーストラリアにおける新型コロナウイルスの感染者の急増、消費者信頼感指数の落ち込みなどが豪ドルの弱気材料となって、豪ドル安円高基調で推移しました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.11\%$ から作成期末は $\Delta 0.10\%$ となりました。作成期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

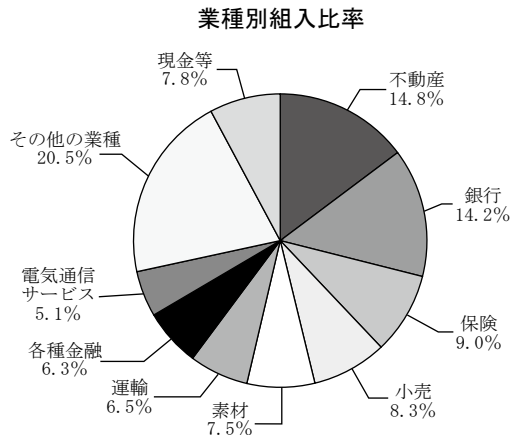
【当ファンド】

作成期を通じて、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド」を概ね高位に組入れ、「T&Dマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）への投資を行うと同時に、スワップ取引を通じて、オーストラリア株式市場全体（株価指数等）にかかるコールオプションを売却する「株式オプションα戦略」および、円に対する豪ドルのコールオプションを売却する「通貨オプションα戦略」を組合わせた運用を行いました。

＜クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンドの組入状況＞
2021年12月30日現在（現地基準）



組入上位10銘柄			
	銘柄名	業種	比率
1	TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス	5.1%
2	AUST AND NZ BANKING GROUP	銀行	5.0
3	BHP GROUP LTD	素材	4.0
4	SCENTRE GROUP	不動産	4.0
5	MEDIBANK PRIVATE LTD	保険	3.7
6	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	3.5
7	AURIZON HOLDINGS LTD	運輸	3.3
8	SUNCORP GROUP LTD	保険	3.2
9	HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	小売	3.2
10	VICINITY CENTRES	不動産	2.9

(注) 比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する比率（リートを含む）です。
(注) 組入状況は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに当社が作成したものです。
(注) 現金等は、未払金等が多い場合、マイナスになることがあります。

【T & Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第107期から第112期まで各25円とさせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

主要投資対象である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド」への投資比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「T & Dマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、「株式オプション α 戦略」および「為替オプション α 戦略」を活用し、引続き年率15%の目標オプション料（プレミアム収入）の獲得を目指します。

【T & Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響による下押しからの持ち直しの動きがみられます。また、インフレ率については、エネルギー価格の上昇を反映してプラス幅を緩やかに拡大していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2021年 7 月 27 日から 2022 年 1 月 25 日まで)

費用の明細

項目	第107期～第112期		項目の概要
	2021/ 7 / 27～2022/ 1 / 25		
	金額	比率	
平均基準価額	1,360円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	10円 （ 4） （ 6） （ 0）	0.733% (0.276) (0.441) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 （投資信託証券）	0 （ 0）	0.035 (0.035)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 （監査費用）	0 （ 0）	0.008 (0.008)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	10	0.776	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

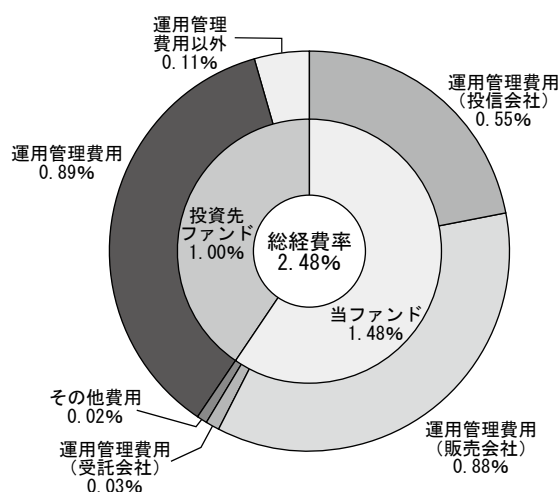
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1 口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、2.48%です。



総経費率 (①+②+③)	2.48%
①当ファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.89%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注) ①の費用は、1 万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況（2021年7月27日から2022年1月25日まで）

(1) 投資信託証券

		第 107 期 ～ 第 112 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	口 63,986	千円 84,000	口 229,997	千円 309,068

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

		第 107 期 ～ 第 112 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
T & D マネーブルマザーファンド		千口 —	千円 —	千口 3,351	千円 3,400

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等（2021年7月27日から2022年1月25日まで）

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細（2022年1月25日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	前作成期末 (第106期末)	当 作 成 期 末 (第 112 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	口	口	千円	%
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	2, 061, 565	1, 895, 554	2, 415, 448	98. 9

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 106 期 末)	当 作 成 期 末 (第 112 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
T & D マネープールマザーファンド	13, 070	9, 718	9, 859

(注) T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は390, 707千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成（2022年1月25日現在）

項 目	当 作 成 期 末 (第 112 期 末)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	2, 415, 448	95. 1
T & D マネープールマザーファンド	9, 859	0. 4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	114, 574	4. 5
投 資 信 託 財 産 総 額	2, 539, 881	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年8月25日現在 2021年9月27日現在 2021年10月25日現在 2021年11月25日現在 2021年12月27日現在 2022年1月25日現在

項 目	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末
(A) 資 産	2,905,009,363円	2,747,103,624円	2,776,485,740円	2,655,138,222円	2,556,012,830円	2,539,881,394円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	100,465,195	73,190,288	66,643,208	67,734,776	93,461,956	114,573,359
クレディ・スイス・ユニバーサル・ トラスト(ケイマン)Ⅱ-蒙州高配当株・ ツインαファンド(評価額)	2,791,281,984	2,660,651,152	2,682,623,717	2,574,142,569	2,452,690,969	2,415,448,130
T&Dマネーボールマザーファンド(評価額)	13,262,184	13,262,184	13,260,877	13,260,877	9,859,905	9,859,905
未 収 入 金	—	—	13,957,938	—	—	—
(B) 負 債	84,689,005	56,460,127	69,964,571	58,781,966	54,753,925	96,336,715
未 払 金	26,000,000	—	—	—	—	41,000,000
未 払 収 益 分 配 金	51,284,106	50,063,705	48,738,973	47,496,151	46,800,886	47,575,141
未 払 解 約 金	3,966,550	2,670,666	18,090,238	7,947,970	4,690,131	4,787,140
未 払 信 託 報 酬	3,402,368	3,686,867	3,102,611	3,302,970	3,228,770	2,943,268
未 払 利 息	178	94	100	118	161	194
そ の 他 未 払 費 用	35,803	38,795	32,649	34,757	33,977	30,972
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,820,320,358	2,690,643,497	2,706,521,169	2,596,356,256	2,501,258,905	2,443,544,679
元 本	20,513,642,798	20,025,482,262	19,495,589,477	18,998,460,477	18,720,354,422	19,030,056,455
次 期 繰 越 損 益 金	△17,693,322,440	△17,334,838,765	△16,789,068,308	△16,402,104,221	△16,219,095,517	△16,586,511,776
(D) 受 益 権 総 口 数	20,513,642,798口	20,025,482,262口	19,495,589,477口	18,998,460,477口	18,720,354,422口	19,030,056,455口
1万口当たり基準価額(C/D)	1.375円	1.344円	1.388円	1.367円	1.336円	1.284円

(注) 当ファンドの第107期首元本額は20,483,354,607円、第107～112期中追加設定元本額は1,604,406,659円、第107～112期中一部解約元本額は3,057,704,811円です。

(注) 元本の欠損

第112期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は16,586,511,776円です。

(注) 第112期末の1口当たり純資産額は0.1284円です。

損益の状況

自2021年7月27日
至2021年8月25日

自2021年8月26日
至2021年9月27日

自2021年9月28日
至2021年10月25日

自2021年10月26日
至2021年11月25日

自2021年11月26日
至2021年12月27日

自2021年12月28日
至2022年1月25日

項 目	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期
(A) 配 当 等 収 益	50,957,397円	50,219,754円	49,350,708円	47,610,913円	46,861,649円	46,450,299円
受 取 配 当 金	50,959,105	50,221,317	49,352,230	47,612,690	46,863,413	46,452,411
受 取 利 息	—	—	14	—	7	70
支 払 利 息	△ 1,708	△ 1,563	△ 1,536	△ 1,777	△ 1,771	△ 2,182
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	33,124,521	△ 59,124,851	88,888,850	△ 37,862,995	△ 53,509,040	△ 95,630,347
売 買 益	33,642,840	588,320	91,631,818	572,631	2,043,848	△ 7,554
売 買 損	△ 518,319	△ 59,713,171	△ 2,742,968	△ 38,435,626	△ 55,552,888	△ 95,622,793
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,438,171	△ 3,725,662	△ 3,135,260	△ 3,337,727	△ 3,262,747	△ 2,974,240
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	80,643,747	△ 12,630,759	135,104,298	6,410,191	△ 9,910,138	△ 52,154,288
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 6,630,409,952	△ 6,387,363,685	△ 6,219,054,338	△ 5,939,081,476	△ 5,838,577,362	△ 5,786,338,239
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△11,092,272,129	△10,884,780,616	△10,656,379,295	△10,421,936,785	△10,323,807,131	△10,700,444,108
(配 当 等 相 当 額)	(2,334,145,224)	(2,276,469,022)	(2,212,833,464)	(2,156,017,136)	(2,121,408,774)	(2,154,369,645)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△13,426,417,353)	(△13,161,249,638)	(△12,869,212,759)	(△12,577,953,921)	(△12,445,215,905)	(△12,854,813,753)
(G) 合 計 (D + E + F)	△17,642,038,334	△17,284,775,060	△16,740,329,335	△16,354,608,070	△16,172,294,631	△16,538,936,635
(H) 収 益 分 配 金	△ 51,284,106	△ 50,063,705	△ 48,738,973	△ 47,496,151	△ 46,800,886	△ 47,575,141
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△17,693,322,440	△17,334,838,765	△16,789,068,308	△16,402,104,221	△16,219,095,517	△16,586,511,776
追 加 信 託 差 損 益 金	△11,094,682,370	△10,888,350,229	△10,656,886,848	△10,425,159,750	△10,327,009,115	△10,704,543,190
(配 当 等 相 当 額)	(2,331,734,983)	(2,272,899,409)	(2,212,325,911)	(2,152,794,171)	(2,118,206,790)	(2,150,270,563)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△13,426,417,353)	(△13,161,249,638)	(△12,869,212,759)	(△12,577,953,921)	(△12,445,215,905)	(△12,854,813,753)
繰 越 損 益 金	△ 6,598,640,070	△ 6,446,488,536	△ 6,132,181,460	△ 5,976,944,471	△ 5,892,086,402	△ 5,881,968,586

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

〔第107期〕
計算期間末における費用控除後の配当等収益（48,873,865円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,334,145,224円）より、分配対象収益は2,383,019,089円（1万円当たり1,161円）であり、うち51,284,106円（1万円当たり25円）を分配金額としております。

〔第108期〕
計算期間末における費用控除後の配当等収益（46,494,092円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,276,469,022円）より、分配対象収益は2,322,963,114円（1万円当たり1,160円）であり、うち50,063,705円（1万円当たり25円）を分配金額としております。

〔第109期〕
計算期間末における費用控除後の配当等収益（48,231,420円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,212,833,464円）より、分配対象収益は2,261,064,884円（1万円当たり1,159円）であり、うち48,738,973円（1万円当たり25円）を分配金額としております。

〔第110期〕
計算期間末における費用控除後の配当等収益（44,273,186円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,156,017,136円）より、分配対象収益は2,200,290,322円（1万円当たり1,158円）であり、うち47,496,151円（1万円当たり25円）を分配金額としております。

〔第111期〕
計算期間末における費用控除後の配当等収益（43,598,902円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,121,408,774円）より、分配対象収益は2,165,007,676円（1万円当たり1,156円）であり、うち46,800,886円（1万円当たり25円）を分配金額としております。

〔第112期〕
計算期間末における費用控除後の配当等収益（43,476,059円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,154,369,645円）より、分配対象収益は2,197,845,704円（1万円当たり1,154円）であり、うち47,575,141円（1万円当たり25円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・％、1万円当たり・税引前)

項目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2021年7月27日 ～2021年8月25日	2021年8月26日 ～2021年9月27日	2021年9月28日 ～2021年10月25日	2021年10月26日 ～2021年11月25日	2021年11月26日 ～2021年12月27日	2021年12月28日 ～2022年1月25日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	1.786	1.826	1.769	1.796	1.837	1.910
当期の収益	23	23	24	23	23	22
当期の収益以外	1	1	0	1	1	2
翌期繰越分配対象額	1,136	1,135	1,134	1,133	1,131	1,129

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。
(注) 投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。
※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T & D マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
基本運用方針	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体（株価指数等）のオプション取引（コールオプションの売却）および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。
投資態度	〔高配当株投資〕 - 主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資を行います。 - 主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。 - 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 〔株式オプションα戦略・通貨オプションα戦略〕 - スワップ取引を通じて、実質的に豪州株価指数等*を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 *市場環境によっては、豪州株保有銘柄を対象とする場合があります。 - スワップ取引を通じて、実質的に豪ドル（対円）を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 - 原則として概ね保有する豪ドル建資産の評価額程度のコールオプションの売却を行います。 ※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	転換社債、ワラントへの投資は行いません。 同一発行体への投資割合は、原則として、純資産総額の10%以下とします。 同一業種への投資割合は、原則として、純資産総額の35%以下とします。
分配方針	原則として、毎月分配を行います。
投資顧問会社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド（各オプションα戦略の運用）
副投資顧問会社	レッグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッド*（豪州高配当株の運用） ※レッグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッドの株式運用部門は、マーティン・カリー・オーストラリアのブランド名で事業活動を行っています。

※次ページ以降の記載は、バンクオブニューヨークメロン証券株式会社およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手した情報をもとに作成しております。（1）は監査済報告書を当社が一部翻訳したもの、（2）は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書

計算期間：2020年2月1日～2021年1月31日

単位：円

収益

受取配当金	138,056,132
受取利息	588
スワップ取引に係る収益・費用	(302,721,071)
投資に係る純損益	(331,544,913)
投資純損益	<u>(496,209,264)</u>
その他収益	1,452,810
外国為替取引に係る純損益	11,532,028
収益合計	<u>(483,224,426)</u>

費用

投資顧問料	15,898,694
その他費用	3,664,490
取引手数料	1,452,810
管理・保管費用	10,866,425
事務代行手数料	1,559,959
運用報酬	541,091
運用費用合計	<u>33,983,469</u>
税引前損益	(517,207,895)
源泉徴収税	(7,747,327)
期中の純資産変動	<u>(524,955,222)</u>

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2021年1月31日

1. 株式現物

銘柄名	株数	評価額	業種
	株	円	
AUST AND NZ BANKING GROUP	88,732	168,996,363	銀行
WESTPAC BANKING CORP	56,245	95,466,049	銀行
SCENTRE GROUP	443,772	97,316,858	不動産
AUSNET SERVICES	390,035	54,201,988	公益事業
MEDIBANK PRIVATE LTD	385,934	90,523,518	保険
AGL ENERGY LTD	89,187	82,173,258	公益事業
VICINITY CENTRES	497,707	61,368,805	不動産
VIVA ENERGY GROUP LTD	241,032	33,785,914	エネルギー
COLES GROUP LTD	56,166	82,157,833	食品・生活必需品小売り
INGHAMS GROUP LTD	135,213	35,733,856	食品・飲料・タバコ
TELSTRA CORP LTD	484,431	121,409,328	電気通信サービス
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	44,061	32,561,748	銀行
ASX LTD	4,634	26,723,019	各種金融
BHP GROUP LTD	44,326	155,100,053	素材
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	225,467	96,714,096	小売
TRANSURBAN GROUP	35,832	38,108,738	運輸
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	19,150	128,461,443	銀行
CHARTER HALL RETAIL REIT	77,944	22,289,392	不動産
APA GROUP	104,720	82,352,703	公益事業
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	159,691	62,213,941	保険
G.U.D. HOLDINGS LTD	26,170	25,078,970	自動車・自動車部品
GPT GROUP	101,910	35,364,383	不動産
GWA GROUP LTD	80,739	22,375,255	資本財
SUNCORP GROUP LTD	104,585	84,682,850	保険
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	83,934	158,712,054	銀行
JB HI-FI LTD	20,235	84,148,602	小売
IOOF HOLDINGS LTD	269,303	67,493,402	各種金融
STOCKLAND	346,036	123,693,485	不動産
TABCORP HOLDINGS LTD	136,360	43,704,426	消費者サービス
WESFARMERS LTD	13,782	60,457,468	小売
ALUMINA LTD	98,837	13,457,203	素材
WOODSIDE PETROLEUM LTD	24,921	48,985,209	エネルギー
WOOLWORTHS GROUP LTD	17,560	57,635,280	食品・生活必需品小売り
DEXUS	21,953	15,888,548	不動産
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	422,912	74,737,441	公益事業
MACQUARIE GROUP LTD	4,092	43,191,325	各種金融
AURIZON HOLDINGS LTD	276,900	82,298,177	運輸
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	133,537	24,993,269	不動産
STAR ENTERTAINMENT GRP LTD/T	121,232	33,597,108	消費者サービス
PENDAL GROUP LTD	39,527	19,622,207	各種金融
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDIN	437,121	84,622,187	メディア・娯楽
合計		2,772,397,752	

(注) 日付は現地基準です。

(注) リートを含まず。

2. スワップ

想定元本額	評価額
円	円
2,904,052,052	(8,540,817)

(注) () 書きは負数です。

T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第34期（決算日 2021年12月10日）
（計算期間 2021年6月11日から2021年12月10日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2021年12月10日に第34期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落 中 率			
	円	%	%	%	百万円
30期（2019年12月10日）	10,158	△0.0	—	—	733
31期（2020年6月10日）	10,154	△0.0	—	—	575
32期（2020年12月10日）	10,151	△0.0	—	—	430
33期（2021年6月10日）	10,148	△0.0	—	—	430
34期（2021年12月10日）	10,145	△0.0	—	—	409

（注）基準価額は1万円当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

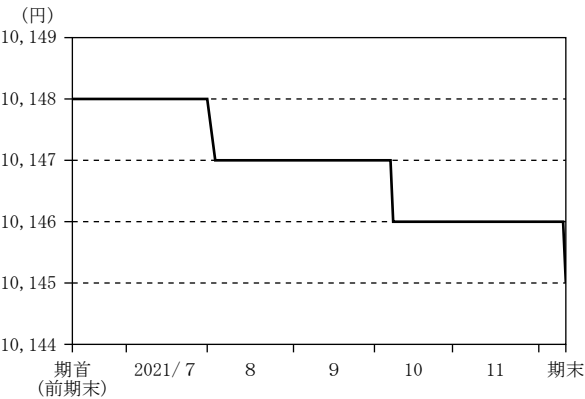
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
期首（前期末） 2021年 6 月10日	円 10,148	% —	% —
6 月末	10,148	0.0	—
7 月末	10,148	0.0	—
8 月末	10,147	△0.0	—
9 月末	10,147	△0.0	—
10月末	10,146	△0.0	—
11月末	10,146	△0.0	—
期 末 2021年12月10日	10,145	△0.0	—

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,148円から期末は10,145円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初の△0.10%から期末は△0.12%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響による下押しからの持ち直しの動きがみられます。また、インフレ率については、エネルギー価格の上昇を反映してプラス幅を緩やかに拡大していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2021年 6 月11日から2021年12月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2021年 6 月11日から2021年12月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2021年 6 月11日から2021年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2021年12月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2021年12月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	409,953	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	409,953	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	409,953,443円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	409,953,443
(B) 負 債	410
未 払 利 息	410
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	409,953,033
元 本	404,074,136
次 期 繰 越 損 益 金	5,878,897
(D) 受 益 権 総 口 数	404,074,136口
1 万口当たり基準価額 (C/D)	10,145円

(注) 期首元本額 424,068,885円

期中追加設定元本額 0円

期中一部解約元本額 19,994,749円

(注) 1 口当たり純資産額は1.0145円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
T & D インド中小型株ファンド 69,040,591円

米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 円ヘッジ・コース 1,653,709円

米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 通貨プレミアム・コース 40,750,718円

米国リート・プレミアムファンド (年2回決算型) マネーボール・コース 88,475円

豪州高配当株ツインαファンド (毎月分配型) 9,718,980円

野村エマージング債券投信 (円コース) 毎月分配型 15,203,451円

野村エマージング債券投信 (円コース) 年2回決算型 4,690,232円

野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 毎月分配型 6,884,550円

野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 年2回決算型 1,424,313円

野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 毎月分配型 13,394,468円

野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 年2回決算型 1,651,239円

野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 毎月分配型 124,252,174円

野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 年2回決算型 7,765,966円

野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 毎月分配型 1,413,489円

野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型 131,726円

野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 毎月分配型 1,038,862円

野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 年2回決算型 160,506円

野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 毎月分配型 43,012,339円

野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 年2回決算型 7,932,323円

野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 毎月分配型 33,235,413円

野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 年2回決算型 4,042,047円

野村エマージング債券投信 (金コース) 毎月分配型 10,580,958円

野村エマージング債券投信 (金コース) 年2回決算型 5,829,793円

野村エマージング債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型 177,814円

損益の状況

当期 自2021年6月11日 至2021年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 117,850円
受 取 利 息	481
支 払 利 息	△ 118,331
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△ 117,850
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	6,291,998
(D) 解 約 差 損 益 金	△ 295,251
(E) 合 計 (B＋C＋D)	5,878,897
次 期 繰 越 損 益 金 (E)	5,878,897

(注) 損益の状況の中で

(D) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約
価額を差引いた差額分をいいます。